

Ⅲ 1960年代後半に書かれた以下の文章を読み、下の問いに答えなさい。(問1、問2をあわせて400字以内)

国父、孫文先生が革命を唱えて以来、すでに70余年になる。われわれはこの間に絶えず敵と戦闘して何回も失敗を重ね、あるいは無数の勝利を得たが、今日もなお最後の成功を得られず、1949年には空前の大失敗。つまりソ連と とは最も卑劣であくどい手段と、最も残暴な武力をもって中国大陸を占拠したのである。

このため、われわれは父祖の地を追われて台湾に撤退したが、決して気を落とさず、今日こそ弱から強、危から安へと転換できる機会であると信じている。

この大難を経験することによって、われわれでさえ敵に屈服せず、死を誓って奮闘すれば、戦うほど強くなり、さらに大きな勝利を獲得することができるのである。なぜならば、われわれの従事している戦争は革命の戦争であり、国家民族のために独立を争い、同胞のために自由と正義を勝ち取るための戦いだからである。

われわれは革命戦争が必ず勝利をおさめる信念をもって清朝を打倒し、軍閥を消滅し、そして日本帝国主義をうち破った。今日もそれと同じ信念のもとにソ連を打倒し、 を消滅しなければならない。

(蔣経国『わが父を語る』より引用。但し、一部改変)

問1 ①に入る語句を記しなさい。

問2 ここで対立する両勢力の関係と1949年に至るその変遷についてまとめなさい。